



千葉大学ユニオンニュース 第129号 2025年11月4日

編集・発行：千葉大学ユニオン 事務局：西千葉キャンパス学際研究棟（旧薬学部）1号館119室 メール：cuu@e-mail.jp
電話・FAX：043-290-2234 HP：https://www.age.cc/~cuu/（過去のニュースもご覧になれます）

☆職場でお困りのこと、お気づきのこと、ご質問・ご意見をお寄せください。

千葉大学ユニオン第22期執行委員会が発足 委員長挨拶と活動報告

千葉大学ユニオン委員長 皆川 宏之

この度、千葉大学ユニオン第22期（2025年6月～2026年5月）の委員長を務めることになりました、皆川宏之（大学院社会科学研究院）と申します。千葉大学ユニオンは、2004年4月、千葉大学が国立大学法人に移行したことをきっかけに、それまでの教職員組合を受け継いで新たに結成されました。私はちょうどその頃、法経学部（当時）に赴任したところで、千葉大学ユニオンの結成大会に誘われて参加し、それ以来、微力ですが組合の活動に携わってきました。

私の専門は、法学分野の労働法で、労働組合や労働者の法的な権利を教育・研究の対象としています。普段の授業でも、日本国憲法28条で勤労者に保障された労働基本権や、労働組合法で労働組合に認められるさまざまな権利について話すことがあるのですが、自分自身で組合活動をしたことで、単に法律の教科書に書いてあることだけでなく、組合にまつわるさまざまな事柄について、どういったことが実際に具体的に問題となるのかが、少し分かったような気がしています。おかげで、授業で話すことのできるエピソードもそれなりに増えました（学生にとって面白いかは分かりませんが…）。

この間、千葉大学ユニオンに参加し、執行委員なども務めて実感したことです。労働組合の活動には、多くの人の協力が欠かせません。労働組合は、労働条件の維持改善をはかるため、労働者自身が主体となっ

て、使用者から独立して自主的に運営することが必要で、そうであるからこそ、労働組合には団体交渉権をはじめとしたさまざまな権利が保障されています。千葉大学ユニオンでも、例年、大学内の複数の支部から執行委員を選挙で選んで運営を行っています。学内からは、毎年、さまざまな労働問題について相談が寄せられ、なかには大学と協議・交渉に発展するものもあります。事柄によっては、単純な解決が難しく、大学側や当事者の方との調整を含めて慎重な対応を要するものも少なくありません。こうした活動に尽力された、これまでの委員長はじめ役員・執行委員の皆さんに感謝と敬意を表しつつ、これからも継続的に、大学の中で起こるさまざまな問題を解決するために、千葉大学ユニオンの活動を続けていく必要を感じています。

この間、ユニオンに複数のハラスメント事案の相談が寄せられ、団体交渉も行ってきました。各種のハラスメントが社会的に問題視され、防止のための取組みが法律によって事業主に義務付けられているところですが、そのような取組みを、今後、さらに実効あるものとしていくことが求められます。

また、近年、人事院勧告に基づいて公務員給与の引き上げが実施されるなかで、国立大学法人がどう対応していくかが、今後、ますます重要な問題となると考えられます。人勧に対応して若手の教職員の給与を引き上げることは望ましいことですが、問題はそのため

千葉大学ユニオン第22期執行委員

新執行部のメンバーです。労働関係の相談等は、ユニオン事務局へのメールや電話か、お近くのメンバーにご相談下さい。

委員長	皆川 宏之	【法政経】	事務局長	山本 光晴	【理学系】
副委員長	林 英子	【教育】	副委員長	大川 克哉	【東葛】
執行委員	柳澤 要	【工学系】	執行委員	朝川 毅守	【理学系】
執行委員	大和 政秀	【教育】	執行委員	川合 真木子	【文・人社】
執行委員	崎山 直樹	【国際教養】	執行委員	岡林 信幸	【法政経】
執行委員	アンドリュウ タペンデン	【国際未来教育基幹 (IEEI)】			
会計監査委員	佐藤 元紀	【教育】	会計監査委員	真鍋 健	【教育】

の財源をどう捻出するかです。これまでも、常勤・非常勤を含めた教職員の不補充などによって財源不足への対応が行われてきましたが、そのことで、教育、研究、入試などさまざまな業務に大きなしわ寄せが来ています。現状では、国全体での国立大学に関する安定した予算確保を図らないと改善が難しい問題であると思いますが、千葉大学ユニオンでも、引き続き、大学で実際に働く教職員の立場から意見を集め、この問題に対する適切な対応を大学に求めていきたいと考えています。

このほかにも、近年の物価高にもかかわらず教職員（特に特任・非常勤の教職員）の給与額が変わらない

ことへの対応、大学全体の運営にかかわる学長選考・監察会議の委員選考のあり方への提言など、歴代のユニオンで引き継がれてきた問題が多くあります。いずれも簡単に解決できるような課題ではありませんが、第22期でも可能な限り、取組みを進めたいと思います。

最後になりますが、労働組合の活動にとって非常に大事なことは、参加してくれる方の「数」が増えることです。千葉大学ユニオンは、千葉大学で働く、常勤・非常勤を問わずすべての教職員の方が加入できます。ぜひ、多くの方にユニオンへの加入をご検討いただけたら幸いです。

定期総会報告

2025年6月25日（水）18時から19時20分まで、工学系総合研究棟2のコンファレンスルームにて、「千葉大学ユニオン第22回定期総会」が開催されました。

総会は綿野21期委員長の挨拶により開会され、千葉大学ユニオン規約の総会運営規程に則り、会場出席者と委任状の状況から当日の総会の成立が確認されました。総会の議長に工学系支部の大矢氏が選出され、書記に教育学部支部の林氏が任命されました。まず、桐谷選挙管理委員長より、第22期の役員・執行委員の選挙について、組合員の過半数の投票により、すべての役員・執行委員候補者が信任されたことの報告がありました。

次に、第1号議案として、第21期の活動について、綿野21期委員長から、ハラスメント事案、有期雇用職員の再雇用事案、令和6年人事院勧告、学長選考、語学講師の労働条件改善要求などの案件についての21期の取組みについて報告があり、次いで、第2号議案として、真鍋21期事務局長より会計報告がありました。第3号議案では、皆川22期委員長から、21期での活動を受けて、22期での活動方針についての説明がなされ、第4号議案では、山本22期事務局長から、22期予算案の説明がありました。第1号から第4号までの議案はすべて、賛成多数により承認されました。

最後に、退任する第21期役員・執行委員からの挨拶、新たに選出された第22期役員・執行委員からの挨拶があり、総会は無事に終了しました。

学長表敬訪問

去る8月25日（月）午後に本部事務局棟の学長室へ横手学長を表敬訪問しました。訪問者は、皆川委員長、林副委員長、大川副委員長、山本事務局長の4名でした。以前からの継続案件、今年度に入ってからの新規案件などについて、ユニオンとしてのスタンス・要望を、短い時間ではありましたが、お伝えさせていただきました。

千葉大学ユニオンに加入しませんか

千葉大学ユニオンは、千葉大学で働く教職員でつくる労働組合です。常勤・非常勤といった雇用形態の違いや、職位・職種を問わず、千葉大学で働かれている方であればどなたでもユニオンに加入することができます。

これまでもユニオンは千葉大学で働く多くの方々の声を集め、対話と交渉により、賃金・雇用条件の改善、ハラスメント対策、非常勤職員の雇止めなど労働環境の改善に多くの成果を積み重ねてきました。より多くの方に組合員になっていただければ、より多くの声を大学側に届けることができ、交渉力も高まります。

加入を希望される方はメールや電話でお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。ホームページは右のQRコードからも閲覧できます。皆様の加入をお待ちしております。



加入申込書

千葉大学ユニオン委員長 皆川 宏之様

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入いたします。

年 月 日

お名前:

ご所属:

E-Mail:

問い合わせ先 電話・ファックス:043-290-2234 メール:cuu@e-mail.jp